

「クルマの進化と未来のモビリティ社会」

日時：7月6日(火) 16:50-18:35 (5限)

**国際学術総合研究棟4階SMBCホール(20名まで)に
おける対面授業とオンラインでの受講の併用**

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、トヨタ自動車株式会社 執行役員、コネクティッドカンパニー President 山本圭司 氏からお話を伺います。

電動化、知能化、情報化の進展により自動車業界は100年に一度の大変革期を迎えようとしている中、クルマはつながる化により社会システムの一つに組み込まれ、クルマの在り方そのものも変わろうとしています。

本講義では、クルマの進化の歴史を振り返りながら、全世界で伸長するMaaSや開発競争が激化する自動運転を中心に、モビリティそのものがどのように変わっていくのかを考察します。そして我々が目指すべき豊かで実りあるモビリティ社会のイメージを、それらを支えるモビリティサービスプラットフォームの開発例と共に紹介します。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎します。(使用言語: 日本語、本学学生以外の一般の方は参加・アクセス出来ません。)

- ※ 対面授業を希望する学生は、下記アドレスまで、授業前日17時までに連絡すること。先着順に受け付けし、教室の定員を超えた場合にのみ個別に連絡する。
- ※ オンライン授業URLはITC-LMSで確認すること。また、資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に掲示する。

一問い合わせ： 交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



トヨタ自動車株式会社
執行役員
コネクティッドカンパニー
President
山本圭司氏